

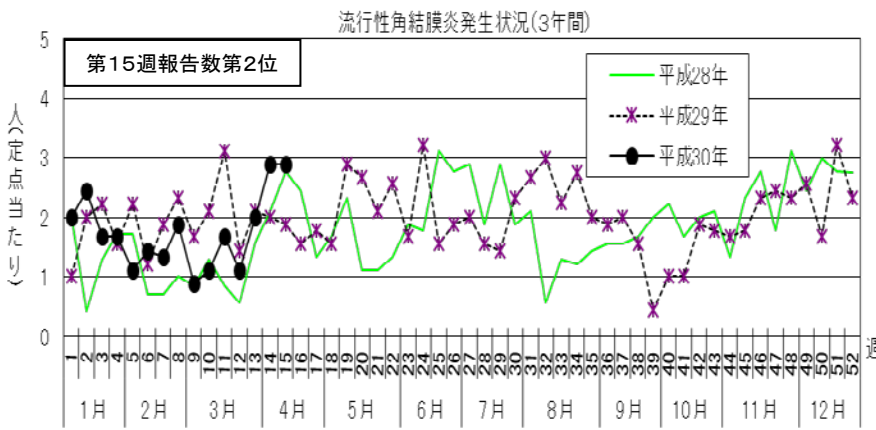
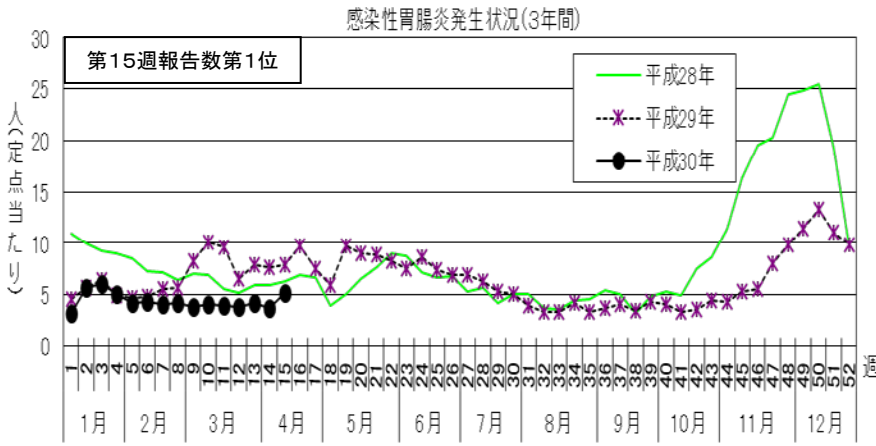
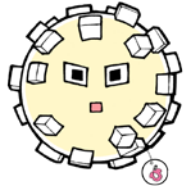
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年4月9日（月）～平成30年4月15日（日）〔平成30年第15週〕の感染症発生状況

第15週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.22人と前週（3.68人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.89人と前週（2.89人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.54人と前週（2.70人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

★ロタウイルス★
 ロータンくん



ロタウイルスの感染に注意しましょう！！

感染性胃腸炎の原因となる病原体は、ウイルスや細菌など様々です。例年、流行のピークとなる11月から1月はノロウイルスによる胃腸炎が多くみられますが、3月から5月にかけてはロタウイルスを原因とする乳幼児の胃腸炎が増加します。

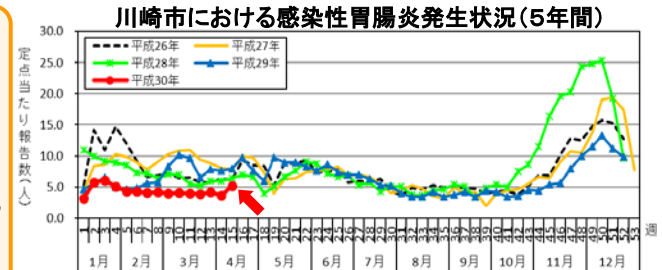
川崎市では、年当初から例年より低いレベルで推移していますが、平成30年第15週（4月9日～4月15日）の定点当たり患者報告数が5.22人と前週（定点当たり3.68人）からやや増加し、特に中原区、多摩区、麻生区の保育園等では、嘔気・嘔吐により欠席する園児が多くなっています。

感染性胃腸炎（ロタウイルス）

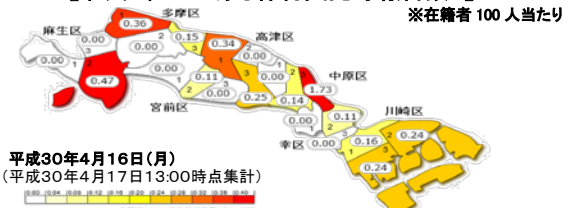
- 感染経路
経口感染
 - 潜伏期間
2～4日間
 - 主な症状
下痢、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛など
 - 合併症
脱水、けいれん、肝機能異常など
重症例では、脳症、心筋炎、急性腎不全などもみられる。
- ※けいれんや意識障害などの症状がみられたら、速やかに医療機関を受診しましょう。



★重症化予防のためには、任意のワクチン接種も可能です。



学校・保育園等欠席者サーベイランス情報
 【嘔気・嘔吐のある保育園児等報告数*】



平成30年4月16日(月)
 (平成30年4月17日13:00時点集計)

川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)